

【八月の言葉（平成二十七年）】

この「いのち」、どこに向かつて生きているのか？
「いのちの帰るところを見つけてほしい」

何がいのちの本当の支え・依りどころになるのか。どんな状況になっても、どつちに転んでも、これさえあれば苦しみを乗り越えていける、真の生きる力・支えとなるものに出会ってほしい。

「根がしっかりしていれば、枝葉がどんなに激しくゆれても、風にまかせておけばいい」と言えるような本当の依りどころとなるものを見つけてほしい。

このいのちはどこに向かつて生きているのか、どこに帰っていくのか？帰るところがなければ大きな不安です。いのちの帰るところを早く見つけてほしい。

阿弥陀如来は、「私が必ずあなたの生きる力・支えとなります。どうかいのちを輝かせていきってください。そして、命尽きたその時には、安心してお浄土へ帰ってきてください」といつも呼びかけておられます。